

参加者  
募集中

日本大学・名古屋大学共催 令和元年度

## 合同シンポジウム“クルマと人と社会の調和”

日時

2020年3月17日（火）12：45～

会場

日本大学生産工学部津田沼校舎37号館803室  
（千葉県習志野市泉町1-2-1）

協賛（依頼中）

公益社団法人自動車技術会、公益財団法人日本金属学会、一般財団法人日本塑性加工学会、  
一般財団法人日本鉄鋼協会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人電子情報通信学会、  
一般社団法人日本人間工学会

後援（依頼中）

千葉県、習志野市、船橋市千葉県産業振興センター



日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター（NU-CAR）では、自動車工学に関する先進創造研究の遂行、社会貢献、学内外の人材育成を理念に、シンポジウムや講習会を年数回開催しております。

このたび、名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所（GREMO）と第6回合同シンポジウムを開催する運びとなりました。

今後、自動車技術の発展および国際競争力の強化には産学連携・学学連携もまた重要な手段であり、そのために研究シーズや応用事例等の紹介を通して広く議論することを今回のねらいとしました。

多くの皆様にご参会いただきますよう宜しくお願い申し上げます

参加費：無料（交流会4,000円）

申込HP：<http://nu-car.jp/>



NU-CAR

GREMO



## ❖退職記念講演

### 「ドライバのモデル化に向けた 研究活動を振り返る」 景山 一郎 機械工学科・教授

これまで行ってきた運転行動モデルに対する研究活動と名古屋大学との共同研究への適用例を講演します。

#### 12:45 開会のご挨拶及び組織紹介

高橋 進（日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター・センター長）  
鈴木 達也（名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所・所長）

#### 13:05～14:00 情報通信領域

「ダイナミックマップを用いた複数車両への協調型運転支援」  
渡辺 陽介（名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所・特任准教授）  
「人間の行動モデルと移動体シミュレーション技術への応用」  
古市 昌一（日本大学生産工学部数理情報工学科・教授），栗飯原 萌（同・助手）  
「Synerexプロジェクトが目指す知的未来都市とスマートモビリティ」  
米澤 拓郎（名古屋大学大学院工学研究科情報・通信工学専攻 准教授）

#### 14:00～14:35 材料領域

「自動車部品の設計・生産シミュレーションにおける機械的特性計測」  
鈴木 康介（日本大学生産工学部機械工学科・助手）  
「ナノカーボン材料複合分散による高機能化材料の電解析出技術の取り組みについて」  
神本 祐樹（名古屋大学未来社会創造機構マテリアルイノベーション研究所・准教授）

#### 14:35～14:50 休憩

#### 14:50～15:45 人間工学・車両特性

「表示の密度に着目した日本語およびアイコンの視認性研究への取り組み」  
石橋 基範（日本大学生産工学部マネジメント工学科・教授）  
「高齢ドライバデータベース「Dahlia」とAIアシストコンソーシアム」  
青木 宏文（名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所・特任教授）  
「路面摩擦データベース構築に向けた取り組み」  
景山 一郎（日本大学生産工学部機械工学科・教授）

#### 15:45～16:10 技術動向講演

「V2Xの動向と新たなアプリケーション領域」  
杉沼 浩司（映像新聞 論説委員，NU-CAR客員研究員）

#### 16:10～16:20 休憩

#### 16:20～17:20 特別講演（退職記念講演）

「ドライバのモデル化に向けた研究活動を振り返る」  
景山 一郎（日本大学生産工学部機械工学科・教授）

#### 17:20 閉会のご挨拶

#### 17:30～19:30 交流会

事前申込：会費4,000円必要 ※プログラムは都合により一部変更となる場合もあります。

## ❖申込のご案内及び問い合わせ

下記のURLより参加申し込みフォームに必要事項を記入の上、お申し込みください

<http://nu-car.jp/1286-2/>

申込締切日：令和2年3月13日（金）

交流会の参加費は4,000円です（当日のお支払いです）。

申込フォーム↓



日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター 事務局

TEL：047-474-3188 E-Mail：cit.nu-car.info@nihon-u.ac.jp